

「イケメンで強いのね！嫌いじゃないわ！」

【名前】	ルナ・ドーパント
【読み方】	るな・どーぱんと
【声/俳優】	須藤元気
【登場作品】	劇場版 仮面ライダーW AtoZ/運命のガイアメモリ
【分類】	T2ドーパント
【メモリ】	T2ルナメモリ
【綴り】	LUNA
【頭文字デザイン】	月とL型の月光(L)
【生体コネクタ位置】	T2ガイアメモリ はコネクタ手術不要（額）

【詳細】

「ルナ（幻想）」の[T2ガイアメモリ](#)で「[NEVER](#)」の副隊長・泉京水が変身したNEVERの幹部ドーパント。メモリは額から挿入されるが、普段はコネクタは無く変身時にのみ出現する。

ムチのような長い両腕を自在に伸縮させる力を持ち（この手は切られてもすぐに再生する）、変幻自在な動きで相手を翻弄し打ち倒す。
また手を振り回すことで分身である[T2マスカレイド・ドーパント](#)を作り出すこともできる。

どこかの工場で[ヒート・ドーパント](#)と合流し、初変身を遂げた[メタル・ドーパント](#)とダブルを追い詰めたが[サイクロン・ドーパント](#)の手によってダブルを逃がしてしまう。

その後、エターナルメモリのマキシマムドライブの効力が消えると同時に変身しエターナルと戦おうとしたダブルを捉えて交戦。しかし、火野映司の変身する仮面ライダーオーズが参戦し、腕でオーズを拘束するもののタカキリバに腕を切断され逃げられた後、メダジャリバーの必殺技・オーズバッシュを受け倒される。変身が解除すると同時に粒子化し消え去った。

なお、当初の予定では関西弁のオラオラ系といった威圧的なキャラであったが、[堂本](#)と被ってしまう為、演者の須藤氏のアドリブもあって上記の台詞に見られるようなオカマキャラとなっている。
メモリ挿入の際もその場で妙にクネクネした見事なダンスを披露するなど、ファンに強烈な印象を与えている。
また、上述の台詞はオーズに変身した映司に対して発したものである（その際「嫌いじゃないわ」の部分と呼称するなどこのドーパントを代表する印象的なセリフである）。

[大道克己](#)に惚れ込んでおり、NEVERのシンボルマークもデザインしている。
また断末魔の叫びも「克己ちゃあああああん！」、大道に向けたものだった。

7月発売のOVの『仮面ライダーエターナル』にも登場する。
生前は昔気質なヤクザ（この時点ではオカマキャラではない）であり、仲間の裏切りによって刺殺される。
その時は普通に男らしい性格だったのだが、死の間際克己に惚れ込みオカマキャラとして覚醒した。
重厚かつシリアスなストーリー展開のこのOVでは、劇場版に負けないほどの奇抜な言動と濃いキャラクター性からこの作品の Comedy リリース的存在となっている（台詞のほとんどが須藤氏のアドリブである）。

超能力兵士であるシオンとの戦闘では生身でありながら持ち前の驚異的な体の柔軟性を駆使して、彼女の念動力を全て回避しながら接近し、関節技で撃破するという活躍を見せている（その際に使用した技を本人は「フライング2丁目固め」と呼称していた）。